

## 基本目標 2 お互いの能力や個性を認め、あらゆる分野とともに 参画し活躍できる社会環境づくり

### 【現状と課題】

少子高齢化や社会・経済情勢の急激な変化の中で、男女がともに家庭や職場、地域社会などに参画して、ともに責任を担っていくことにより心豊かな暮らしが可能となります。

地方だけでなく国全体が本格的な人口減少時代を迎え、活力ある社会を実現するためには自分自身が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる環境をつくっていくことが大切です。しかし、少子高齢化、人口減少など社会情勢の変化に加え、高度情報化、グローバル化<sup>※</sup>の進展などにより仕事は複雑化・多様化してきており、労働者が仕事以外の活動にかかわることが難しいのが現状です。

こうした状況の中、これまでの働き方を見直し、それぞれのライフスタイル<sup>※</sup>に応じた職場と家庭のバランスがとれる働き方、暮らし方ができる環境が求められています。

また、家事や育児、介護などの家庭責任は、男女がともに担うべきものですが、現実には女性が担っている場合が多く、女性の再就職や地域活動への参画が難しい原因の一つになっています。女性が仕事や地域活動にも能力を十分に発揮し、豊かさを実感できる社会とするためには市民のニーズに対応した子育てや介護などの支援を提供するとともに、活動しやすい環境を整備するほか、男性の家事、育児、介護等への参画を促進していく必要があります。

女性の社会進出が急速に進んでいますが、政策や方針を決定する場への女性の参画は、まだまだ少ない状況にあり、女性の参画拡大を促進する必要があります。多様な個性・価値観を持つ男女が、一人の人間としてあらゆる分野に参画することが社会を活性化します。

---

#### ※グローバル化

一般に、資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、海外の国々との貿易を通じた商品・サービスの取引や投資など、経済的な結びつきが国際的に深まることをいいます。

#### ※ライフスタイル

個人に合った、無理をしない自己流の生き方。または生活行動の様式、生活に対する価値観の型をさします。

## (1) 職場や家庭、地域活動への男女共同参画の推進

それぞれのライフスタイル<sup>※</sup>に応じた職場と家庭のバランスがとれる暮らし方について考える機会を提供し、家庭責任の分担と家庭を大切に思う意識の醸成に努めます。

育児・介護などの家庭生活を支援することで、地域活動に参画する機会の確保に努めます。また、生涯学習の充実を図り、男女がともに地域活動に参画する環境の整備と啓発に努めます。

### 【基本施策】①職場と家庭のバランスがとれる暮らし方に関する意識啓発

施 策 の 内 容	担当課所等
a それぞれのライフスタイル <sup>※</sup> に応じて、職場と家庭、地域活動などについて、自分の希望に沿った形でバランスよく展開していけるよう、「ワーク・ライフ・バランス <sup>※</sup> 」の考え方についての理解を進める啓発活動を行います。	市民活力推進課 子育て支援課 関係各課
b 職場と家庭が両立できるよう、また、家庭における家事・育児・介護などの家庭責任を男女がそれぞれ担い、お互いに助け合い、支え合っていくことの大切さや感謝の気持ちを持つ意識の醸成を図ります。	市民活力推進課
c 男女がともに学べる料理教室や育児・介護講習などを開催して生活技術の学習機会の充実に努めます。	生涯学習・ スポーツ振興課 各社会教育施設 関係各課

※ライフスタイル 11ページ参照

※ワーク・ライフ・バランス

仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できる状態をさします。

【基本施策】②子育てや介護など家庭生活との両立支援

施 策 の 内 容	担当課所等
a 育児・介護休業は男女にかかわらず取得できることなど、制度の周知・啓発を行います。	商工港湾課 市民活力推進課
b 延長保育や一時保育など様々なニーズに対応した保育サービスの充実を図るとともに、地域の保育施設の特徴を生かした保育環境づくりに努めます。	子育て支援課
c 保護者が日中家庭にいない小学生を対象として、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成・指導に努めます。	子育て支援課
d 子育て中の保護者の負担感や不安感をできるだけ軽減するため、市民同士の助け合いや助言がいつでも受けられる体制をつくり、子育てしやすい環境を整えます。	子育て支援課
e 子育て支援のための各種制度や、子育てについての不安・悩みなどの相談窓口を周知するとともに、その充実に努めます。また、家庭教育講座などにおいて、子育てに関するアドバイスをテーマとした学習機会の情報提供に努めます。	子育て支援課 健康づくり課 生涯学習・ スポーツ振興課 公民館
f 母子生活支援施設の支援体制の充実を図るとともに、子どもの養育や就労等に関する相談の充実に努めます。また、ひとり親家庭に対する給付事業の周知に努め、制度の確実な利用を図ります。	子育て支援課
g 障がいのある子どもやその家庭に対する各種支援制度について周知し、保育所等の受け入れ環境の整備に努めます。	福祉課 子育て支援課 学校教育課
h 家族の介護が女性にばかり偏ることなく、男女がともに担えるよう啓発活動を行うとともに、家族介護教室などを通じて男性の介護に対する意識の高揚に努めます。	長寿いきがい課 福祉課
i 能代市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に沿って、在宅介護の促進や自立生活の支援など各種福祉サービスの推進や活用の充実に努めます。〔「高齢者福祉の充実と社会参加の促進」に主掲載〕	長寿いきがい課 関係各課
j 介護についての不安や悩みに対する相談窓口及び家事や介護の支援制度の周知を行うとともに、その充実に努めます。	長寿いきがい課 福祉課 市民活力推進課

【基本施策】③社会活動への参加の促進

施 策 の 内 容	担当課所等
a 女性の社会参加が促進されるよう、保育サービスをはじめとした子育て支援の充実に努めます。	子育て支援課
b ボランティア団体等の育成・充実を通じて活動や学習の場を提供します。	市民活力推進課 関係各課
c 男女共同参画に関する学習・研修・情報提供の場として、勤労青少年ホーム内の男女共同参画支援コーナーの充実に努め、男性、女性にかかわらず市民活動が活発に行われるよう支援します。	市民活力推進課
d 意欲のある市民がその持てる知識や経験を十分に活かし、市民活動をしやすい環境を整える制度の創設について検討します。	市民活力推進課
e 市内在住の外国人が、地域社会の一員として安心して暮らせるように、日本語の学習や日本文化にふれる機会を提供します。また、市民が外国の文化や生活様式の違いを理解できる機会を提供し、交流の促進を図ります。	市民活力推進課 公民館
f 国際交流・国際協力等関係団体と連携し、在住外国人などへの情報提供を行います。	市民活力推進課

【基本施策】④生涯学習の充実

施 策 の 内 容	担当課所等
a より多くの市民が生涯を通して学習ができるように、ニーズに応じたプログラムの充実や男女共同参画にかかわる講座等、生涯学習の充実に努めます。	生涯学習・ スポーツ振興課 公民館 各社会教育施設
b 男女がともに学べる料理教室や育児・介護講習など、生活技術の学習機会の充実に努めます。 〔「職場と家庭のバランスがとれる暮らし方に関する意識啓発」に主掲載〕	各社会教育施設 関係各課

## (2) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

行政における政策・方針決定過程に女性が参画し、様々な意見を行政に反映させることができるよう努めます。また、地域のリーダーとして活躍できる人材の育成に努めます。

### 【基本施策】①市の審議会等への女性の参画の拡大

施 策 の 内 容	担当課所等
a 各種委員会・審議会等の委員として、女性の参画を推進するため、庁内関係各課への依頼及び関係諸団体への働きかけを行うほか、女性が参画しやすい環境整備に努めます。また、すべての審議会等に女性が委員として参画できるよう配慮します。	市民活力推進課 総務課 関係各課
b 審議会等の委員は、公募も含めできる限り幅広い分野からの登用に努めます。	市民活力推進課 関係各課

### 【基本施策】②女性の人材育成と活用

施 策 の 内 容	担当課所等
a 派遣研修やあきたF・F推進員 <sup>※</sup> などを活用しながら、広い視野と行動力を持ち、地域のリーダーやファシリテーター <sup>※</sup> として活躍する人材の養成を図ります。	市民活力推進課 関係各課
b 地域で活躍する女性の人材リストを、個人のプライバシーに配慮しながら整備し、様々な場面への女性の参画促進を図ります。	市民活力推進課

#### ※あきたF・F推進員

男女共同参画社会形成のための施策の一環として、秋田県が行っている事業で、各市町村における男女共同参画に関する施策・事業がより効果的におこなわれるよう、地域における推進的役割を担う人材として登録し、全県で90名が活躍しています（平成28年度時点）。能代市は男性2名、女性3名の計5名配置になっています。（F・Fとは fifty-fifty のFをとった造語です。）

#### ※ファシリテーター

もともとの意味は「促進する者」で、平たく言えば、話し合いの促進役、集団で問題解決していく場面での支援者です。役割は、参加者一人ひとりが思っていることを引き出し、表現できるようにお手伝いをする、いろいろ出てきた意見を、参加者の合意を得ながらみんなで整理したり、そこから新たなアイデアを生み出せるように支援したりすることが期待されています。